



筑後市地域自立支援協議会

教育部会・相談支援部会

令和5年度2回目
総合福祉センター



令和5年度



障害のある児童も安心して生活できる地域の体制づくり

18事業所22名が参加



地域とのつながり、障害の理解促進
障害サービスの周知、事業所間の連携強化

第2回目は…

①教育部会と相談支援部会との 名刺持ち寄り情報交換!



地域活動の場所として交流する場を提供しています。

利用される方と一緒に卓球や囲碁を打ったり、相談に乗ったりします。そっとして欲しい方には見守り体制をとります。地域に出る為の準備運動と思って気軽に来て欲しい。

主にどのような事をしていますか?



子どもたちにどのような支援をしていますか?

対面で交流したことにより、電話がかけやすくなりました!交流会ができてとても良かったです!



体幹を鍛える運動や、手先を使った遊びを支援の中に取り入れています。一度遊びに来て下さい。

②「のびのびちっご」配布について振り返り



小学校・保育園・幼稚園・学童など児童との関りの多い所へ、のびのびちっごを配布しました。

配布のご協力、有難うございました!

部会員の意見

冊子のサイズが小さいので、サイズを大きくして配布はどうか
配布に限りがあるのでデータをダウンロードできないか
手渡して配布したため、お顔を
知ることができて良かった



次年度以降、協議会にて検討する



筑後市のホームページ「自立支援協議会」からデータのダウンロードができるよう取り組む

まとめ

今回の情報交換会は短い時間でしたが、お互いの知りたいこと、聞いてみたいことなど、積極的に話すことが出来たと思います。来年度も情報交換会の機会を作り、連携の取りやすい関係づくりをめざしていけたらと考えます。教育部会の企画に参加していただいた、相談支援部会の方々には感謝しております。ありがとうございました♪
教育部会会長 丸林

各事業所と情報を共有し、取り組みを知ったことで、職員の相談できる場所や、子どもたちへの支援方法の選択肢が更に増えました。部会内でまたこの様な情報交換ができる場があれば、より充実した部会になるのではないかと思います。
教育部会副会長 白谷・黒田

今回は、教育部会と相談支援部会の連携強化を目的とし実施されました。ここ3~4年は対面で顔を合わせることも少なくなっており、お一人お一人を知る良い時間となりました。今回の部会をきっかけに、より連携しやすくなればと思っています。多忙な中、貴重なお時間をありがとうございました。
相談支援部会会長 荒巻